【本別町】

校務DX計画

GIGAスクール構想にて整備されたMicrosoft Teams、Google クラスルームを活用し教職員が情報共有をすることで、クラウドツールの便利さを実感し校務の効率化が進んでいる。
さらなるコミュニケーションの迅速化や活性化、校務の負担軽減を図るため、以下の校務DX計画を推進する予定である。

1.校務系・学習系ネットワークの統合
現在、学校内のネットワークについては、個人情報等を取り扱う校務系と1人1台端末で使用する学習系の2つのネットワークに分離させており、外部から個人情報等にアクセスできないようネットワーク環境を構成している。そのため、教職員には校務用と学習用の端末をそれぞれ用意し、校務用端末の持ち出しについては原則禁止とし、授業に必要なデータ等については学習用端末で用意するか、校務用端末から学習用端末に必要なものに限り移動させて使用している。
今後は、教職員の授業準備にかかる時間の削減や教育活動の高度化を目指し、1台の端末でネットワークを切り替えて使用できるようネットワークの統合についてセキュリティの確保を十分に考慮したうえで調査研究を進めていく。

2.学校と各家庭における連絡等のデジタル化
各家庭からの欠席、遅刻等の連絡をデジタル化し、保護者との連絡時間を削減することで教職員の授業準備時間等の確保につながるようアプリの積極的な活用を推進する。

3.デジタルドリル教材の活用
令和6年度から導入したAI型学習ドリルの活用を推進し、宿題等のデジタル化による教職員の準備時間の削減、正答率等のデータの可視化による児童生徒一人ひとりの学習深度の把握につなげるなど、活用方法の更なる周知を行い、より一層の活用を図っていく。